

五年生

# 𨵿

かこむ・イ

甲骨文 

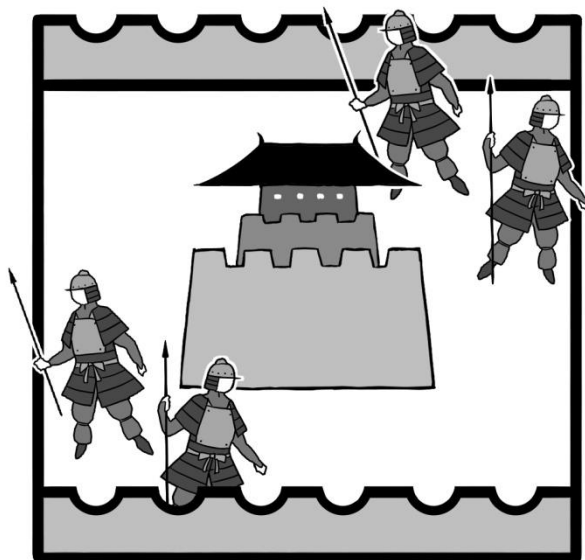
金文 

小篆 

## 漢字の意味

「𨵿」のもとの字は「圍」につくり、韋と口より成る字です。韋は口(都市を取りかこむ城壁)に止(足あとの形)が上下にめぐっている形で都市をかこんで攻めることをあらわしています。それで「かこむ」の意味になります。

熟語 囲碁、周囲、胸囲、範囲、包囲 ※熟語 (二字以上の漢字の語)



五年生

# 因

よる・イン

甲骨文 

金文 

小篆 

## 漢字の意味

「因」は <sup>いん</sup>□ と <sup>い</sup>大 を <sup>だい</sup>組 <sup>く</sup>み <sup>あ</sup>合 <sup>あ</sup>わ <sup>せ</sup>た 字 だ。□ は <sup>い</sup>む <sup>しろ</sup>の 形 で、<sup>だい</sup>大 は <sup>て</sup>手 <sup>あし</sup>足 を <sup>ひろ</sup>げ <sup>て</sup> 立 <sup>た</sup>つ <sup>ひと</sup>ひと を <sup>しょう</sup>正 <sup>めん</sup>面 から <sup>み</sup>見 <sup>か</sup>た <sup>ち</sup>形 だ。「因」は <sup>いん</sup>人 が <sup>い</sup>む <sup>しろ</sup>の 上 に <sup>う</sup>え <sup>ね</sup>寝 <sup>か</sup>た <sup>ち</sup>て いる 形 であり、<sup>まい</sup>む <sup>し</sup>ろ は <sup>まい</sup>毎 <sup>に</sup>日 <sup>ね</sup>寝 る <sup>た</sup>め に <sup>ひつ</sup>必 <sup>よう</sup>要 な <sup>も</sup>の <sup>だ</sup>か <sup>ら</sup>、「よる、たよる」の <sup>い</sup>意 <sup>み</sup>味 にな <sup>り</sup>ま <sup>す</sup>。

熟語 <sup>げん</sup>原 <sup>いん</sup>因、<sup>いち</sup>一 <sup>いん</sup>因、<sup>よう</sup>要 <sup>いん</sup>因、<sup>しょう</sup>勝 <sup>いん</sup>因、<sup>き</sup>起 <sup>いん</sup>因



五年生

# 価

あたい・カ

小篆 價

## 漢字の意味

「価」はもとの字を「價」につくり、イ（にんべん）と買より成る字です。買はものを売り買いするという意味の字です。「價」は売買の「あたい、ねだん」またはものの「価値、ねうち」を意味します。

熟語 価値、価格、原価、物価、売価




五年生


# 造






つくる・ゾウ

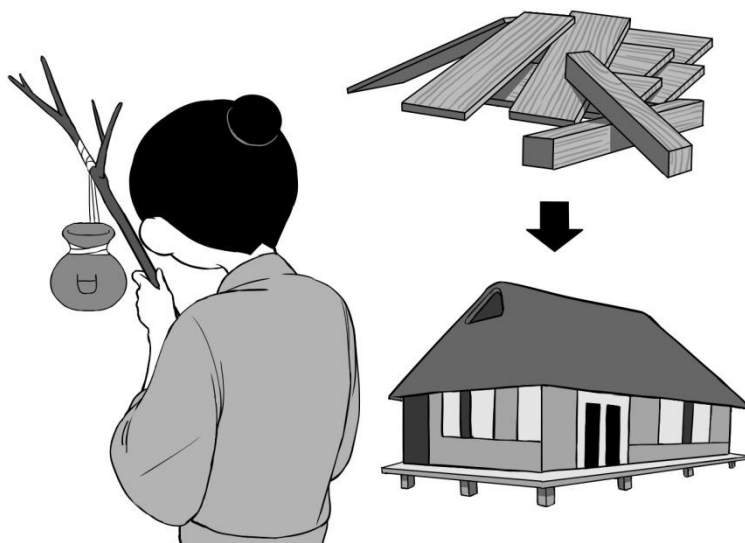
金文 

小篆 

## 漢字の意味

「造」は辵（しんにゆう）と告を組み合わせさせた字です。告は木の小枝に （サイ、祈り文を入れた器）をつけて神に祈ることを言います。神意によってことがきちんとなるので、「造」には「為す」の意味になり、さらに「つくる」の意味となりました。

熟語  造営、 造形、 製造、 改造、 構造



五年生

# 務

つとめる・ム

金文 

小篆 

## 漢字の意味

「務」は**矛**と**力**から成る字です。**矛**は**矛**と**攴**(支)より成る字で、**攴**(支)は打つ**意味**があり、**矛**で打つことを**意味**します。**力**は田畑を**たがやす**耒のことです。「務」は**農耕**や**戦争**に**励む**ことを言う字で、「つとめる、はげむ、つとめ」という**意味**になります。

熟語 **任務**、**義務**、**事務**、**業務**、**勤務**

